

産業廃棄物処理計画書

2024年 6月 2 / 日

香川県知事 殿



提出者

住 所 香川県三豊市詫間町詫間2102番地4

氏 名 大倉工業株式会社

詫間工場長 平尾 敦

電話番号 0875-83-2511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大倉工業株式会社 詫間工場
事業場の所在地	香川県三豊市詫間町詫間2102番地4
計画期間	2024年4月1日から2025年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	製造業
② 事業の規模	売上高 108億円
③ 従業員数	83名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度2023年度実績】								単位:t	
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥		
①現状	排出量	714.96	2.40	0.80	18.73	18,029.41	1,072.20	0		
	紙くず	廃アルカリ	ばいじん	石綿含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品 産業廃棄物	金属くず		
	0	0	104.50	0	0	0	0	0		
(これまでに実施した取組) 当工場はバイオマスボイラーの燃料として木くずを大量に利用している。又、不良品となったパーティクルボードを自社の破砕機で破砕し、バイオマスボイラーの燃料に利用している。バイオマスボイラーの集塵灰は再生利用業者に排出している。(安定処理後、再生ビーズ原料に加工される。)パーティクルボード製造ラインの異物選別機増設後、混合廃棄物排出量削減の為、メッシュ振動コンベアー導入により、木屑の原料化が図れ混合廃棄物が削減されている。更に、チップ製造ライン2次破砕機の異物選別機あとに分級スクリーンと風力選別機を導入し、木屑の原料化と混合廃棄物の削減に努めている。										
②計画	【目標】								単位:t	
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥		
	排出量	694.64	8.24	0	0	20,217.91	916.60	0		
	紙くず	廃アルカリ	ばいじん	石綿含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品 産業廃棄物	金属くず		
	0	0	132.75	0	0	0	0	0		
	(今後実施する予定の取組) 燃え殻量の削減として、ボイラー炉内の部分改修や小まめなメンテナンスを実施し、燃料効率を高めており、設備の維持管理を今後も継続する。									

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物の中にあつた廃プラ(再生可能な物のみ)を分別する事により産廃業者での固形燃料化から、有価物販売が可能となり、2023年1月より継続的に再生利用業者に有価販売できている。又、チップ製造ライン2次破砕機の異物選別機あとに分級スクリーンと風力選別機を導入し、更なる木屑の原料化と混合廃棄物の削減で効果を出している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) チップ製造ラインで導入の振動式異物選別機、分級スクリーン、風力選別機並びにボード製造ラインで導入の振動式異物選別機、メッシュ振動コンベアー等の維持管理を徹底する事により、混合廃棄物の削減に努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度2023年度実績】								単位:t
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
	紙くず	廃アルカリ	ばいじん	石棉含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	
	0	0	0	0	0	0	0	0	

(これまでに実施した取組)

②計画	【目標】								単位:t
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
	紙くず	廃アルカリ	ばいじん	石棉含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	
	0	0	0	0	0	0	0	0	

(今後実施する予定の取組)

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度2023年度実績】								単位:t
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	18,013.85	0	0	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	0	0	0	17,194.39	0	0	
	紙くず	廃アルカリ	ばいじん	石棉含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	

(これまでに実施した取組)

当工場内で発生する木くずをバイオマスボイラー用燃料として処理している。

②計画	【目標】								単位:t
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	20,217.91	0	0	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	0	19,390.53	0	0	
	紙くず	廃アルカリ	ばいじん	石棉含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず	

(今後実施する予定の取組)

引き続き、当工場内で発生する木くずをバイオマスボイラー用燃料として処理する。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

単位:t

①現状

【前年度2023年度実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	廃アルカリ	ばいじん	石棉含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず
0	0	0	0	0	0	0	0

(これまでに実施した取組)

単位:t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	廃アルカリ	ばいじん	石棉含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず
0	0	0	0	0	0	0	0

(今後実施する予定の取組)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

単位:t

①現状

【前年度2023年度実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	油	廃プラスチック類	がれき類	木くず	混合廃棄物	汚泥
全処理委託量	714.96	2.40	0.80	18.73	15.56	1,072.20	0
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への処理委託	0	0	0.80	0	15.56	0	0
認定熱回収業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	廃アルカリ	ばいじん	石棉含有産業廃棄物	廃PCB等	引火性廃油	水銀使用製品産業廃棄物	金属くず
0	0	104.50	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	104.50	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0

(これまでに実施した取組)

バイオマスボイラー集塵灰の再生利用業者への排出を継続する。(安定処理後、再生ビーズ原料に加工される。)

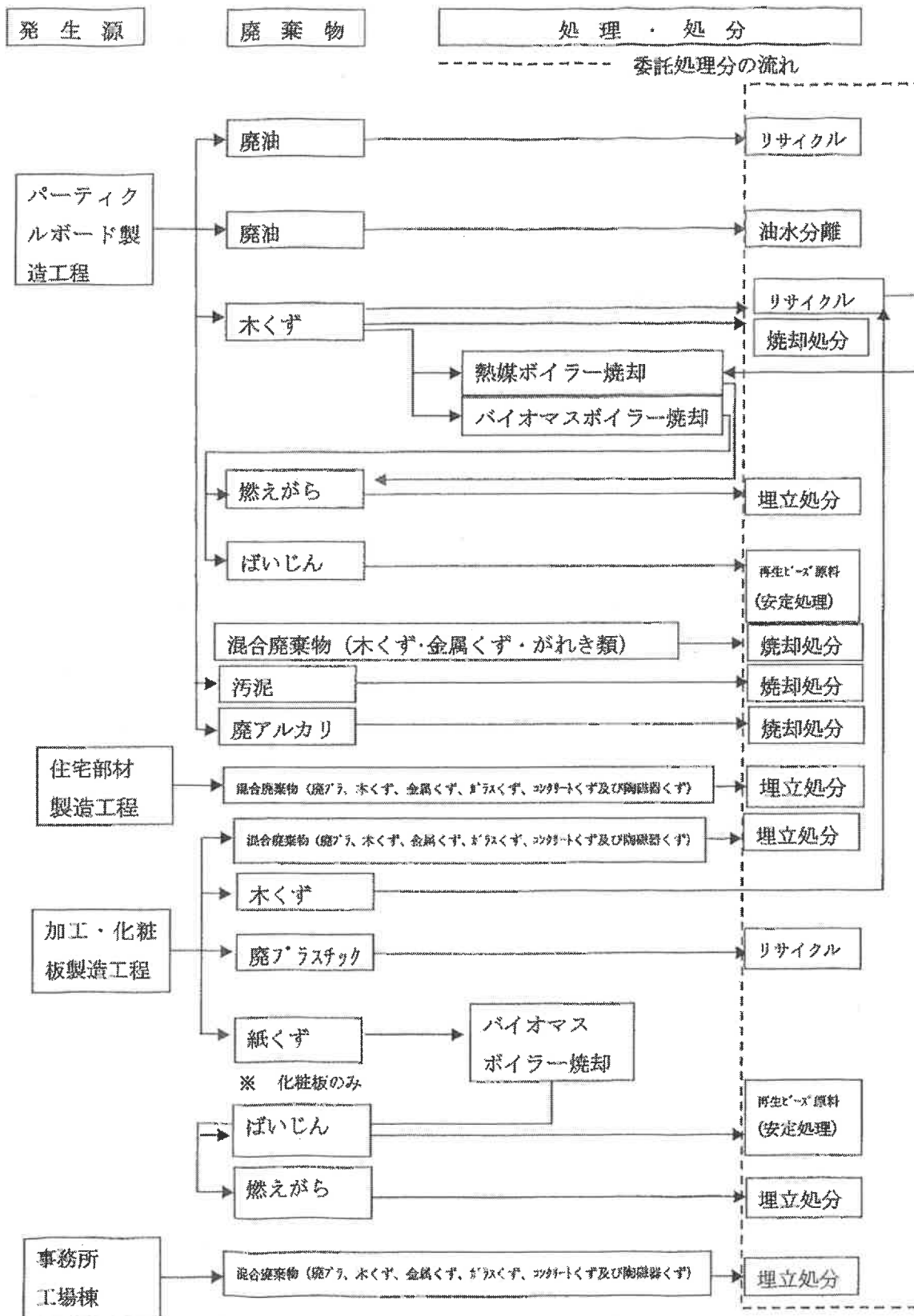
混合廃棄物の中にあった廃プラ(再生可能な物のみ)を分別する事により産廃業者での固形燃料化から、有価物販売が可能となり、2023年1月より継続的に再生利用業者に有価販売できている。

産業廃棄物処理計画書

様式第二号の八（第八条の四の五関係） 別紙

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

④産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

大倉工業株式会社 託工場

[illegible]

産業廃棄物処理計画書

様式第二号の八（第八条の四の五関係） 別紙

（管理体制図）

